

H. H. 2019年卒 地域マネジメントコース

こんな学生時代を過ごしました

≪地域創生学群での活動内容一覧≫

	活動名	内容
大学1年	北九州ご当地グルメ活性PJ	北九州の1つのご当地グルメのPR活動をするともに、北九州市民のソニックプライドの醸成を目的として活動。
	小倉祇園太鼓	北九州のお祭り「小倉祇園太鼓」で北九州市の黄金市場にある「久兵衛」さんとコラボし、食品ロスをテーマにうどんボッキーを販売。
	FM実習	FM実習にて、老若男女交流の場づくりを目的とした「ファンションショー「キタきゅんのコレクション」を公民館で開催。
	カンボジアスタディツアー	①NGO団体「CFTO」での英語・日本語授業の運営サポート ②「夢」特別授業 ③「カンボジア」「東北」「北九州」の子どもたちの笑顔の輪をつなげるプロジェクト ④カンボジアの文化体験
大学2年	北九州食スマイルPJ	①「もがるか」の運営 ②学童での食育イベントの開催
	こずもっぺ出店	行橋市のお祭り「こずもっぺ」にてゼミメンバーでハリボテサイダーを販売。
	熊本放し出しボランティア	2016年4月16日に起きた熊本震災の10日後、益城町の避難施設で環泊まりをしている方々へ焼うどんの放し出しを行った。
	こがねでナイト	北九州市の黄金市場にて夜バルの開催 ①ドリンク・フードの販売 ②日替わりミュージックライブ
	ギラヴァンツとのコラボ企画	北九州のグルメをPRするために、北九州ご当地グルメ連絡協議会・北九州市役所・ギラヴァンツとコラボし、フェスティバルの企画を行った。
	韓国スタディツアー	韓国の大学にて世界の課題である選着ゴミについてプレゼンをし、意見交流やゴミ拾いなどを行った。
大学3年	株式会社スターフライヤーでのインターンシップ	①機内ビデオチャンネルの選定 ②機内販売商品の企画 ③マナー・敬語

こんにちは！早速ですが、私の地域創生学群での4年間をご紹介します。正直、指定されている文字数では書き表せられないほど学び多き4年間を過ごさせていただいたので、左図に簡単ですがまとめさせていただきます。詳しくは実際にお会いした際にお話しさせていただきます。この全ての活動を通して学んだことは、「考動」すること大切さです。ただ待っていても何も生まれません、その場の勢いで動いても自己満足になる。自分がどう動けば現状がよくなるのか、ターゲットに喜んでいただけるのかを常に頭で考えて行動する大切さを学ぶことができました。その根底には「相手目線に立つこと」があります。例えば、カンボジアの村の子どもたちと行った活動が子ども食堂の子どもたちにも通ずる訳ではありません。育った環境や悩み、何を楽しみに生きているかは全く異なります。常に相手の視点に立って、表には出てきていない「本当は何を求めているのか」を実際に五感で体験して感じ取る難さを学びました。これは実際にまちへ繰り出して活動する、北九州市立大学地域創生学群だけでしか学べなかったことだと思います。



『地域経営実践論』の活動にて黄金市場にて夜バルを開催した時の写真。シャッター街と化していた夜の黄金市場に若者・地域住民・市場の方々等老若男女問わず集まり、円陣を組むほどに人と人との繋がりを作ることができました。自慢ですが、『地域経営実践論』を受講している地創生は毎年多くいますが、このイベント以上の利益を更新した者はいないと聞いています！(笑)

卒業後こんなキャリアを歩んでいます

2019年に(株)山口フィナンシャルグループに入社し、現在は北九州銀行守恒支店にて勤務しています。入社から7年目になりますが、約5年と半年は資産運用業務に従事し、今は法人営業業務に従事しています。資産運用と聞くと、投信や保険などリスクのある商品を販売しているイメージ、法人営業と聞くと半沢直樹のドラマの影響か、ノルマや上司からのプレッシャーが強く、数字を追いかける厳しい世界というイメージが多いと思います。しかし、それはあくまで手段であり、銀行員の使命は「お客さまの夢への手助け」だと思っています。商品を売ることや融資をすることがゴールではなく、お客さまそれぞれに価値観やライフプラン、想いがあり、それらを実現していくことに伴走していく、寄り添っていく、出来る限りのお手伝いをするのが仕事だと考えています。最近の出来事といえば、アボなし訪問をした今まで取引のない法人先の代表者と新規事業に係る「夢」を共有したことから始まり、当行との取引が開始しました。この夢を実現させるための手段として銀行員は様々な手段を提供しますが、その根底には地域創生学群で学んだ「本当は何を求めているのか」潜在的ニーズを発掘することが活かされています。



夢への実現のために対話をしている写真。日々奮闘しています！

現役生へのメッセージ

学生のうちにとにかくたくさん経験を積んでください！それは地域創生学群の活動でもいいですし、遊びや趣味でもいいと思います。あまり大きな声では言えませんが、カンボジアに行った時は親に借金して行きましたし、株式会社スターフライヤーに約半年間インターンに行きましたが、今は銀行員をしています。「そこまでしなくても」や「結局意味がなかったじゃん」と思われるかもしれませんが、私自身は全て経験してきてよかったと心から思っています。その時の経験の対価はいつ返ってくるかは分かりません。社会に出ると時間や選択肢が限られるので、今のうちに積極的に動き、多様な経験を通じて自分を成長させてください。未来の自分がきっと感謝しますよ！

(2025年12月5日執筆)